

ミュージアムITセミナー

2017 in 東京

先着90名限定
無料 研修会

開催主旨

日進月歩で進化を続けるIT環境。周辺が激変する中、私たちはどう対処すべきなのか。ミュージアムの情報環境改善に向けて、各分野の専門家が知見を公開してくださる貴重なセミナーが実現しました。

セミナー内容

- 講演1 ミュージアムにおける映像活用
- 講演2 ミュージアムにとっての3D計測データ
- 講演3 ミュージアムと写真
- 講演4 ミュージアムITの将来像

開催情報

日時	平成29年1月30日（月） 10:30~17:30
会場	筑波大学東京キャンパス文京校舎 121講義室
主催	筑波大学 図書館情報メディア系
共催	株式会社ミュージアムメディア研究所
事務局	ミュージアムITセミナー実行委員会

申込フォームQRコード
（読み込んでお申込ください）



お申込は、ミュージアムメディア研究所のホームページ（<http://www.museummedialabo.jp/>）から申込フォームへお進みいただくか、右上のQRコードから申込フォームを開いてください。

プログラム

受付 10:00~10:30

主催者挨拶等 10:30~10:40

講演 1 10:40~11:40
(60分)

ミュージアムにおける映像活用

展示、解説、広報など、ミュージアムにおける映像活用が拡大している。スマートフォンやSNSを利用して、手軽に安価に映像制作を行う方法を事例とともに紹介する。

講師：筑波大学 図書館情報メディア系 教授 西岡貞一

講演 2 13:00~14:00
(60分)

ミュージアムにとっての3D計測データ

3Dプリンタの利用拡大に伴い、3Dデータの利用が盛んになってきている。欧米の大規模館を中心に、収蔵品の3Dデータが公開され、日本においても利用普及が始まりつつある。国内の一般的なミュージアムが、3Dデータを作り、活かす方法を、事例を交えて紹介する。

講師：大手前大学史学研究所 研究員 岡本篤志

講演 3 14:10~15:10
(60分)

ミュージアムと写真

写真が初めて重要文化財に指定されてから18年が経ち、指定品は増加し続けている。一方で、日々撮影される資料写真は、ミュージアムに堆積し続ける。多岐にわたる「写真」をいかに管理し、活用するべきか。災害を見据え、デジタル写真も踏まえて博物館と写真の関わりを考察する。

講師：東京都写真美術館 学芸員 三井圭司

講演 4 15:20~16:20
(60分)

ミュージアムITの将来像

いよいよ動き始めたミュージアムのIT対応。国内外の先進事例、デジタルアーカイブの最新動向、スマートフォンなどを活用する新しい情報発信法に触れながら、予算と負荷をかけずに「先進館に追いつく」ためのテクニックを紹介。

講師：早稲田システム開発株式会社 代表取締役 内田剛史

情報交換会 16:30~17:30

閉会 17:30

ミュージアム ITセミナー

参加費

無料

参加対象者

博物館学芸員 先着順
博物館情報担当者 定員90名
その他博物館関係者

申込方法

インターネット申込フォームより

ミュージアムメディア研究所のWebサイト
(<http://www.museummedialabo.jp/archives/331>)の
ページ内に、申込フォームへのリンクを用意
しました。サイトにアクセスしてください。

こちらのQRコードからも
申込フォームに直接アクセ
スできます。



会場アクセス



〒112-0012
東京都文京区大塚3-29-1
東京メトロ丸ノ内線
茗荷谷駅徒歩5分

【当日緊急連絡先】
03-6457-8551
ミュージアムメディア研究所